

報道機関各位

平成27年8月28日
国土交通省東北地方整備局
小名浜港湾事務所

相馬港ケーソン据付 プレス向け見学会を実施します！

～沖防波堤通算100函目を迎えるケーソン据付～

東日本大震災で甚大な被害を受けた相馬港では、現在、復旧に向けた工事が行われています。小名浜港湾事務所では、船舶航行や荷役作業の安全確保に不可欠な、沖防波堤の復旧工事を急いで進めているところです。

このたび、通算100函目(全142函)を迎えるケーソンの据付作業について、報道機関の皆さまを対象とした現場見学会を開催いたします。

1. 開催日時 平成27年9月3日(木) 7:00～
2. 集合場所 相馬港1号ふ頭 船だまり(別図参照)
3. 内容 ▽ケーソンえい航、据付状況及び防波堤整備事業の説明(船上及び防波堤上から)
4. 定員 20名(応募者多数の場合は申込み順とさせていただきます)
5. 申し込み方法 別紙申込み用紙に必要事項ご記入の上、FAX又はE-mailにて、**9月1日(火)まで**にご連絡ください。
6. その他 ▽気象条件等により、見学内容が変更又は中止となる場合がございますのでご了承ください。
▽安全な服装(サンダル・ハイヒールはご遠慮ください)でお越しください。また、安全確保のため、現場ではヘルメット・ライフジャケットを着用していただきます(こちらで用意いたします)。

《お問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

企画調整課 小野寺(おのでら)、藁谷(わらがい)

TEL:0246-53-7142 FAX:0246-53-2912

【投込先】福島県政記者クラブ、南相馬記者クラブ

【 現場見学会概要 】

《 集合場所 》

▽相馬港1号ふ頭 船だまり

《 当日の流れ 》

▽集合場所から港湾業務艇「おきかぜ」に乗船

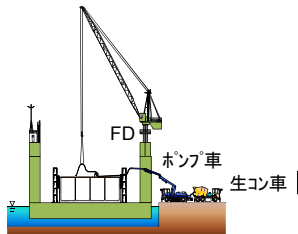
▽ケーソンえい航、据付状況及び防波堤整備事業の概要説明(船上及び防波堤上から)

(所要時間 90~120 分程度)



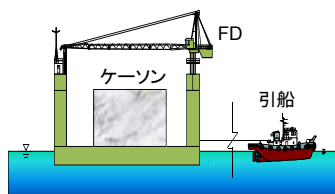
《 参考:防波堤工事手順イメージ 》

①ケーソン製作



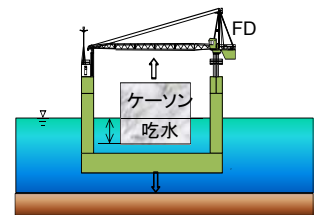
足場→鉄筋→型枠→コンクリート打設の流れ作業を5回繰り返し、12mの高さまで打ち上げます。

②FD曳航



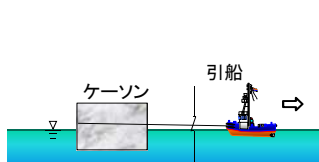
相馬港内所定の進水場所まで、引船でFDを曳航します。

③ケーソン進水・仮置



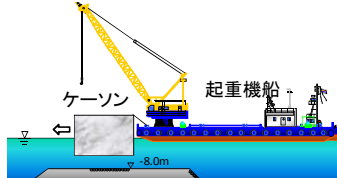
進水場所に到着後、FD本体に注水を行い、沈降させます。FDが沈むことにより、ケーソンが浮上します。

④ケーソン曳航



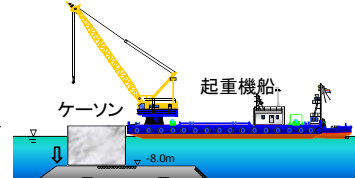
仮置されたケーソンを浮上させ引船にて引き出し、据付現場まで曳航します。

⑤ケーソン引渡



仮置き場から曳航してきたケーソンを起重機船に固定し、所定の位置に誘導します。

⑤ケーソン据付



マウンド
ポンプでケーソン内に海水を注入し、着底させます。

今回の見学作業

F A X : 0 2 4 6 - 5 3 - 2 9 1 2

E - m a i l : onodera-y82ab@mlit.go.jp

東北地方整備局 小名浜港湾事務所 企画調整課 行き

相馬港ケーソン据付見学会 申込書

所 属	氏 名	連絡先	E-mail

開催日時 : 平成27年9月3日(木) 午前7時出発

集合場所 : 相馬港1号ふ頭 船だまり

※ 天候等の影響により変更又は中止となる場合がございます。連絡先欄には、代表者様の携帯電話など、常時連絡がとれる電話番号をご記入ください。

※ 海上の工事は、波の穏やかな早朝に行われますので早い時刻の出発となります。定刻には出発しますので、遅れないように集合してください。